

学校教育目標	「自ら学び社会とつながりともに未来を創る人」				
	○基礎基本を身に付け、生涯にわたり自ら学び続ける生徒を育てます。(知)	○自らを律し、自他を大切に育てます。(徳)	○基本的な生活習慣を身に付け、健康に生きようとする生徒を育てます。(体)	○地域を愛し、つながりや関わりを大切にする生徒を育てます。(公)	○多様性を認め、共に生きようとする生徒を育てます。(開)
学校概要	創立 62 周年	学校長 中村 雅一	副校長 中井 博之	2 学期制	一般学級: 6 個別支援学級: 2
	児童生徒数: 190 人	主な関係校: 入船小学校・汐入小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	寛政中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>寛政中学校ブロックで育成を目指す資質・能力「基礎学力」「規範意識」「協働性」</p> <p>本校で育成を目指す重点的な資質・能力「知識及び技能の習得」「思考力・判断力・表現力」の育成 「学びに向かう力、人間性」の育成</p>	<p>寛政中学校 入船小学校 汐入小学校</p>	<p>基礎的・基本的な学力を身に付け、それを活用することができる子ども。基本的な生活習慣を身に付け、健康を維持できる子ども。マナーを守り、他者への思いやりをもち、他者とコミュニケーションをとりながら協働できる子ども。</p> <p>・小中ブロックの授業参観・協議会や小学校重点研の研究交流を充実させ、小中連携して授業改善を図る。 ・小中交流日や個別支援学級交流日の活動を充実させるとともに、小学校行事等への中学生の参加を通して連携・協働意識を高める。 ・寛政中学校区のスタンダードに基づいた指導を通して、規範意識を育てる。</p>

中期取組目標	<p>○「すべての教育活動を生徒の成長と将来の幸福のために」を基本理念とした学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの個性や資質・能力を理解し、その伸長を図ることに努め、誰もが安全に安心して心豊かに生活し、寛政中学校の生徒として誇りをもてるような学校づくりを進めます。 ・生徒が学び育つための教育活動の展開や教育環境づくりに努め、生徒や保護者、地域社会の要請や信頼に誠実に答える姿勢を大切に、加えて家庭や地域とのよりよい連携や協働を生かして学校づくりを進めます。 ・教職員一人ひとりが自らの特性や能力を生かすとともに、相互の連携や協力により一人ひとりの教育力を発揮する方向性を揃え、有機的に機能する組織を大切にして学校づくりを進めます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①校内授業研などを通して積極的に授業公開に取り組み、全職員で授業を参観することを通して、指導と評価の一体化を目指し、改善に努める。 ②「3観点での評価」について、研修会をもつなどして改善に努め、授業に生かす。
担当 学習指導部	
徳 人権教育	①多文化共生を軸に、多様性を認める環境づくりに努める。 ②学校教育全体で道徳教育を充実させ、一人ひとりの個性を認め合える学校づくりを行う。
担当 人権担当	
体 健康教育	①誰もが楽しみながら運動に参加できるように保健体育科の授業改善を図るとともに体育的行事や集会を生徒が主体となって運営できるようにする。 ②主体的に健康な生活が実践できるよう健康・安全について理解を深め、計画的に健康教育を実践する。
担当 保健安全指導部	
公開 ESDの推進	①「寛政中挨拶運動」を通し、地域社会の一員としての意識を育てる。 ②ESDの「多様性」「相互性」の視点で見直し、身近な課題の解決に向けた活動にする。
担当 特活指導部	
いじめへの対応	①月1回以上いじめ防止対策委員会を開催し、認知された案件の経過を確認し、支援指導を見直す。また、いじめられた生徒の心情を共有し、積極的に認知を行う。 ②生徒指導部と連携し、アンケートや教育相談を通じて、生徒のSOSを見逃さない体制をつくる。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)	①計画的に外部講師を招いた研修会を行い、人材育成・教師力の向上を目指す。 ②時期によって重なる様々な業務を、円滑に遂行できるように事務処理日を適宜設定する
担当 教務部・研究研修	
地域連携・学校運営協議会	①地域行事への積極的な参加及び協力、地域ボランティア活動、地域への協力を行う。 ②学校だよりやHPの更新などで地域に学校の情報を積極的に知らせ、学校の取組への理解を図るとともに、協力を働きかける。
担当 地域連携担当	
児童生徒指導	①年3回の教育相談を設定したり、日ごろの声掛けや相談機会を設けたりするなど、生徒の内面に寄り添った生徒指導を推進する。 ②生徒指導研修会を複数回実施し、情報を共有し、活用できるように知識を深める。
担当 生徒指導部	
特別支援教育	①特別支援教室について、効果的な運用や支援体制を実施するなかで、その都度、検討・改善していく。 ②支援が必要な生徒の実態や支援計画などの情報共有を、職員間で円滑に行うための仕組みを構築、運用、改善していく。
担当 特別支援教育委員会	
教育環境整備	①教室の衛生環境の整備を図るため、換気や座席配置など、組織的に行う。 ②教室や廊下、ホールなどの環境整備、資料室・教具室の整理整頓を計画的に行う。
担当 施設管理担当	